

# これから

千田慎之介君(大東町鳥海)は今年で10歳。好きな科目は算数。毎日、夢中になってスポ少の野球に取り組んでいる。10年後、20歳になった慎之介君が見る一関はどんなまちになっているだろう。



**一人じゃないから「あい」がある**  
助けあい、励ましあい、分かちあい、認めあい、競いあい、喜びあい。ひとつ屋根の下で、いくつもの「あい」が生まれました。それは家族が互いを思う気持ちに似ているかもしれません。子供を思う親の気持ち。孫を愛する祖父母の気持ち。素直な子供の気持ち。ときには感情をぶつけあうこともあるでしょう。でも、こころの奥の深いところではつながっている。それが家族。10年という時を経て、わたしたちは、地域を越え、一つの家族になったのです。

**未来をつくる源とは**  
未来は過去より、ずっと長い。そして、社会は目まぐるしく変化します。想像もつかない出来事が起こるかもしれません。でも、大丈夫。家族が一緒なら、きっと、うまくいきまます。未来のまちづくりに必要なもの。それは、相手を思う愛です。

(\*1) アンケート回収率/ 2005年40.5% (1,823人)、14年37.9% (1,708人) 調査期間/ 05年12月11~27日、14年6月20日~7月4日

Keyword.3  
協調

# 共に生きる

人口減少や少子高齢化など、課題が浮き彫りになった。この10年、各地域同士や住民と行政などが、互いの話をよく聞き、思いやり、調和することが、これらの困難を乗り越えるために必要です。

## スケールメリットを生かして

市は、暮らしや経済活動をスムーズに行えるよう、合併特例債や地方交付税の特例など、財政面の優遇措置を活用して、各種事業を展開しています。

学校統合などによる学校建設、一関図書館、花泉図書館の建設、なのはなプラザの設置、市道の改良整備、消防署の改築などのハード事業をはじめ、元気な地域づくり事業や地域おこし事業などのソフト事業にも取り組みました。

## 住民の声を聞く

市は、まちづくりに対する住民声を聞くため、2005年と14年、無作為に抽出した住民4500人を対象に、アンケート調査を行いました。(\*1)

一関の住みやすさを尋ねた質問に対し「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた人は、合併した05年



新鮮な発想はまちづくりの原動力。「高校生ワークショップ」

が43.6%だったのに対し、14年は49.1%で5.5ポイント増加。理由は、1位「自然環境が良い」、2位「人間関係、近隣関係が良い」、3位「交通が便利」となっており、豊かな自然と温かな地域性を好意的に捉える人が多いことが分かります。

一方で、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」と答えた人は、05年が30%。15年は25%で5ポイントの減。理由は、1位「まちに活気がない」、2位「雇用に恵まれない」、3位

「交通が不便」、4位「保健・医療機関が充実していない」などを挙げています。

アンケートでは、市政に対する厳しい意見も多い中、まちづくりについては、05年、14年ともに70%以上の人が「住民と行政が共につくるもの」と回答。多くの人が協働の理念を胸に抱いています。

また「住民の市政への参加を活発にするために必要なことは」という質問には「多くの市民の声を聞く」と「情報公開を充実させる」が多く、行政との対話を望んでいます。

## 人口減少と少子高齢化

2006年の人口は、合併前の藤沢町を含め約13万人だったのに対し、15年の人口は、約12万。約1万人の減となっています。(表1)

また、本市でも、10~20代が減少し、70~80代が増加する傾向が見られます。(表2)

市は、本年6月に「市まち・ひと・しごと創生有識者会議」を設置。委員に産業、教育、金融などの各団体から17人を委嘱しました。将来の人口推計や展望をまとめる「地方人口ビジョン」と、人口減少に歯止めをかけるため「地方版総合戦略」の策定を進めています。

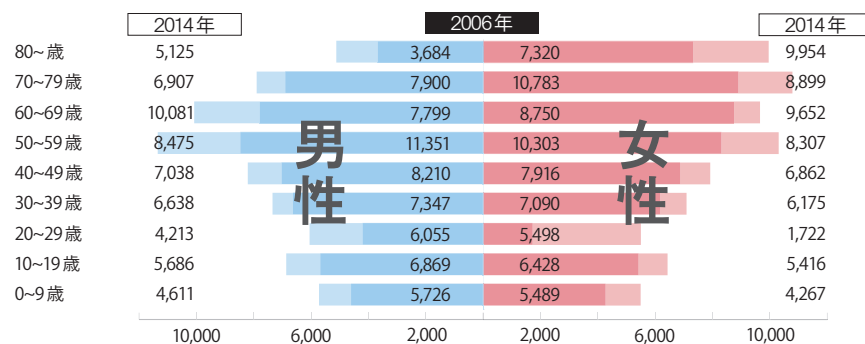
本年度の予算は「未来に向けた子育て応援予算」。子育て世代への支援や、若者の地元定着に力を入れ、少子高齢化と向き合っています。

## ILCの実現に向けて

本市を中心とする北上高地は、13年8月に国内の研究者による評価によって(国際リニアアコライダー)ILCの国内建設候補地に選ばれました。

ILCは、一関のまちづくりの基軸。研究者やその家族の受け入れ体制の整備や、国際化社会に対応する人材の育成にも力を注いでいます。

表2 2005年と14年の人口ピラミッドの比較



出典/2006年と14年の岩手県人口移動報告年報

表1 人口の比較

地域	2006	2015	減
一関	61,279	58,661	▲2,618
花東	15,625	13,724	▲1,901
大東	16,947	14,627	▲2,320
千厩	13,059	11,698	▲1,361
東山	8,105	7,037	▲1,068
室根	5,985	5,340	▲645
川崎	4,515	3,869	▲646
藤沢	9,953	8,489	▲1,464
合計	135,468	123,445	▲12,023

出典/2006年と14年の住民基本台帳人口